

「東村山しあわせ大使」（初代大使：竹下 景子 様）の再任について

東村山市では、人と人とのふれあいと交流を大切にすることにより、優しさと思いやりのあるしあわせなまちになるよう、当市の魅力などを多くの方々に知らせるための活動を行う「東村山しあわせ大使」を設置致しております。

現在、初代大使として幼稚園・小学校と幼少期を東村山市で過ごし、多方面でご活躍されている女優の竹下 景子 様に平成21年6月よりご就任をいただいておりますが、4年間の大使の委嘱期間満了に伴い、引き続き竹下 景子 様に「東村山しあわせ大使」としてご就任いただくことになりました。

つきましては、別紙日程の通り「東村山しあわせ大使」の再任に伴う委嘱状交付式を執り行いますので、ご多用中とは存じますが、取材方宜しくお願い申し上げます。

なお、このたびの委嘱状交付式は、当市内に所在する東京で唯一の国立ハンセン病療養所「多磨全生園」敷地内の国立ハンセン病資料館にて執り行います。国立ハンセン病資料館は、今年6月で開館20周年の節目の年を迎え、委嘱状交付式の翌日となる6月25日には記念式典が開催されます。

竹下 景子 様におかれては、様々な活動を通じてハンセン病に関わるこれまでの苦難の歴史等に関心を持たれていることから、竹下様の強い要請もあり「東村山しあわせ大使」として「多磨全生園」をご訪問いただき、国立ハンセン病資料館で委嘱状交付式を執り行うことと致しました次第です。

また、当市においては現在、多磨全生園入所者自治会が掲げる療養所の地域開放を実現することを目的とした将来構想である「人権の森構想」の実現に向けた支援活動に積極的に取り組んでおり、このたびの委嘱状交付式の機会に、「しあわせ」の象徴である竹下氏に「東村山しあわせ大使」として多磨全生園入所者の御霊の眠る納骨堂への献花を行っていただくことを予定しております。

記

日 時：平成25年6月24日（月）

午後2時05分 集合 於 多磨全生園正門

午後2時20分 献花式 於 納骨堂

午後2時30分 委嘱状交付式 於 資料館会議室

場 所：国立ハンセン病療養所「多磨全生園」敷地内

国立ハンセン病資料館

東京都東村山市青葉町4-1-13

出席者：竹下 景子 様

渡部 尚 東村山市長

東村山市立南台小学校恩師 吉野 卓夫 先生

多摩みどり幼稚園 遠藤 朋子 先生

多磨全生園入所者自治会 佐川 修 会長 他

注意事項：国立ハンセン病療養所「多磨全生園」敷地内での撮影は原則として禁止となります。

なお、納骨堂への献花や委嘱状交付式において、報道用写真の撮影時間を用意いたします。またインタビューにつきましては、委嘱交付式の撮影終了後少々ございますのでその際をお願いいたします。広報広聴課にて指示いたしますので、ご協力いただけますようお願いいたします。

問い合わせ先：経営政策部 広報広聴課長 竹部 和典

電話：042-393-5111（代表）内線 2231

秘書課長 大西 岳宏

電話：042-393-5111（代表）内線 2011

以上